

第2回

メチル水銀中毒症研究会主催

WEB

慢性メチル水銀 中毒症シンポジウム

新潟水俣病について

日時

2022年

5月22日 日 14:00-15:30

ZOOMウェビナーを使って全国をオンラインで中継します

第1演題

「新潟水俣病の紹介」

演者 菊陽病院 藤野紘 医師



第2演題

「新潟水俣病の臨床経験」

演者 舟江診療所 関川智子 医師



第3演題

「新潟水俣病の水銀曝露と
神経症候の関係」

演者 新潟青陵大学 福祉心理学部
社会福祉学科 教授 丸山公男 医師



第4演題

「水俣・新潟の病態の比較」

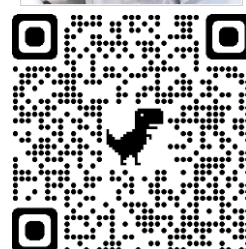
演者 神経内科リハビリテーション協立クリニック
高岡滋 医師



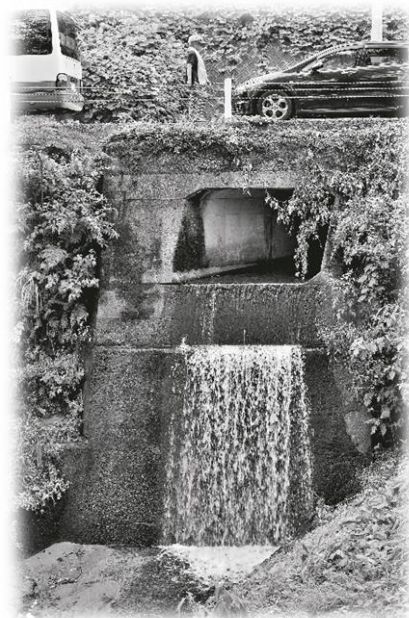
参加をご希望の方は右のQRコードよりお申込みください

<https://bit.ly/36uf95j>

お問い合わせ 0966-63-6835 or 070-5402-0138
神経内科リハビリテーション協立クリニック 荒川(あらかわ)

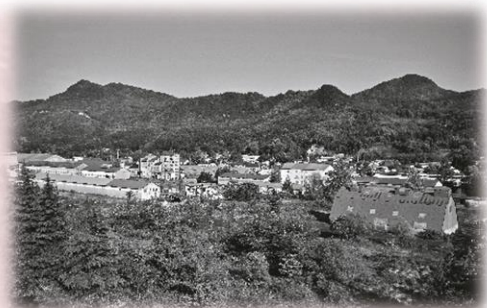


- ZOOMウェビナーでの開催です。必ず事前申し込みの上、ご参加ください
- 所属と実名表記でご参加ください
例：▲▲病院 浪花太郎、□□法律事務所
日本一子 など
(本人確認ができない場合は参加をお断りする場合があります)
- シンポジウムでのご質問はチャット機能でお寄せください。



～新潟水俣病とは～

新潟水俣病は、熊本で水俣病が公式発見されてから9年後の1965年に最初の患者が確認されました。熊本水俣病の原因究明や被害者救済が適切に行われなかったために起こった第二の水俣病です。



阿賀野川上流にあった昭和電工鹿瀬工場からの廃液に含まれたメチル水銀が食物連鎖により魚介類に濃縮・蓄積され、これらの魚介類を常食していた流域住民が新潟水俣病に罹患しました。

当時、流域の住民にとって川魚は貴重なタンパク源であり、阿賀野川にはたくさんの漁協があり、流域住民は川魚を多食していました。

そして、新潟でも熊本同様、今もなお多くの住民が水俣病の神経症状に苦しみ、また、いわれなき差別と偏見に苦しみながら救済を求めています。

第2回シンポジウムは「新潟水俣病」に焦点をあて、水俣病の実相を考えていきます。

科学者である医師、特に若手医師のご参加を歓迎します。